



春の叙勲 褒章受章者



「時代に即した消防団運営」

瑞宝単光章

磯部 源三郎さん(日吉町・63)

昭和42年に旧日吉町消防団に入団以来、33年3カ月という長きにわたって消防団活動に従事。その間、副分団長6年、分団長2年、副団長2年、さらに団長6年を歴任し、消防団の発展に尽力された。

副団長在任中は、課題であった消防団員不在による昼間の消防力低下を克服するため、機動性が発揮できる役場職員による分団を新たに組織。団長在任中には、過疎化や高齢化が進む中、地域を守るために、住民自らも防火防災の体制づくりが必要であることを説き、日吉町で初の自主防災組織を結成。また、日吉ダム湖周辺において大規模な山林火災の発生を懸念し、隣接する他町消防団、京都市中部広域消防組合に合同火災想定



「地域と行政のパイプ役」

旭日単光章

廣瀬 陽一さん(八木町・88)

高齢者叙勲

訓練を呼びかけ実施。旧日吉町消防団が日本消防協会長表彰旗を受章した際には、表彰調査のために数カ月にも及ぶ厳しい訓練が行われました。町民の理解、協力体制を得て、見事に統率指揮を行い、町全体が一致団結して大きな成果を収められました。

現在も、地域防災のためにはなくてはならない地元の自主防災組織のリーダーとして活躍されています。

昭和58年11月から平成7年11月までの3期12年、旧八木町議会議員として地域の発展に寄与。地域のあらゆる要望や問題に対応すべく、豊富な見識と指導力で住民の先頭に立ち、地域と行政とのパ

八木町地内への企業誘致、地区公民館の設置、B&G海洋センタープールの建設などに力を注がれました。温厚誠実な人柄で広く住民の信望を得られ、関係機関や地元調整に手腕を発揮されました。

イプ役として尽力されました。
在任中は、文教厚生常任委員長、鉄道・国道対策特別委員長などを歴任され、副議長を2年間務められました。その間、

◆勲章・褒章は栄誉のしるし
勲章は、国家や公共に対して功労のあった方に国から授与される記章のこと。春秋叙勲のほかに、危険業務従事者叙勲、高齢者叙勲、死亡叙勲などがあります。
褒章は、社会の各分野において優れた行いや功績のあった方などに国から授与される記章のこと。
春秋叙勲・褒章は年に2回、4月29日と11月3日付けで授与されています。